

8. 本時の指導 (5/6)

- (1) 本時の目標
 - ・友だちと交流することで、文章の構成や論理の展開、表現の効果について自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。
- (2) 本時の評価規準
 - ・友だちと交流することで、文章の構成や論理の展開、表現の効果について自分の考えを広げたり、深めたりしている。【Cエ】
- (3) 準備物 短冊
- (4) 学習の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	◇評価【観点】(方法)
導 入	<p>1. めあての提示</p> <p>T 読み比べをしてきて、どちらの文章が魅力的でしたか。手を挙げてもらいましょう。「モアイは語る」？ 「イースター島には…」？</p> <p>S (手を挙げる)</p> <p>T 今日はどちらの文章が魅力的かについて、友だちとの交流を通して自分の意見を吟味してほしいと思います。</p> <p>めあて 友だちとの交流を通して、それぞれの文章の筆者の工夫を捉え直し、自分の考えを吟味しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてをノートに書く。 	
	<p>2. めあての吟味</p> <p>T 自分の考えを吟味するってどういうこと？</p> <p>S 自分の考えの根拠が正しいか、他にないのかを考えて、根拠を増やしたり、確認したりすることです。</p> <p>T そうですね。では、考えが変わったらおかしい？</p> <p>S 考えが変わることもあると思います。友だちの考えを聞いて、自分の考えより正しいと思うなら変えてもいいと思います。</p> <p>T 今まで、表現の工夫や説明の仕方などの文章の特徴を見つけるために全文シートを使って文章を読み比べてきました。また、その読み比べてわかった筆者の工夫を、今日のこの時間、友だちに紹介するために「丸わかりシート」にまとめてきました。それを見せて説明しながら、友だちと交流して、どちらの文章が魅力的か自分の考えを吟味しましょう。</p> <p>では、やり方です。今日はこのグループで行います。発表する順番を決めて、それぞれの自分の考えを発表します。聞いている人はその発表のメモをしっかりと、わからなかったことや理由などについて質問し、より多くの意見を聞きだします。そうして、何人かに全体で発表してもらい、出た意見について考えを深めていきたいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに対して、どのようにしたらよいかをしっかりとつかませる。 ・手順を示す。(掲示) ・あらかじめ、観点別のグループをつくっておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(観察)
展 開	<p>3. グループでの交流</p> <p>○各自がまとめた内容について、手順に従ってグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「丸わかりシート」にまとめたことを基に、説明する。 ・互いの答えやその根拠について、質問したり話し合ったりして、自分の考えを練り直す。 ・新たに気付いたことや納得したことを「全文シート」に書き加える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「丸わかりシート」をグループの中央に置いて説明する。 ・疑問に思うことや、詳しく聞きたいことを出し合うように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと交流することで、文章の構成や論理の展開、表現の効果について自分の考えをもつようにしている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察)

結 末	<p>4. まとめ</p> <p>○全体で共有する。</p> <p>・何人かの意見を取り出し、筆者の工夫(文章全体の特徴)についてまとめていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出された短冊をまとめていく。 ・聞いた意見を「全文シート」に付け加える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと交流することで、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。【思考・判断・表現 Cエ】(観察・ノート) 									
<p>まとめ例</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>本論の展開</th> <th>題名</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストーリー仕立ての文学的な手法を用いて、筆者の主張をおもしろく読めるようにしている。</td> <td>疑問形にすることで、課題を明確にし、筆者の主張を読者が読みやすいようにしている。</td> <td>小学校</td> </tr> <tr> <td>筆者の調査をアピールしながら、順を追って事実を示し、筆者の主張をはっきりとさせている。</td> <td>モアイを擬人化することで、モアイが今も生きていて、現代の私たちに訴えている様子を暗に示すことで、筆者の主張を切実なものに思わせる。</td> <td>中学校</td> </tr> </tbody> </table>				本論の展開	題名		ストーリー仕立ての文学的な手法を用いて、筆者の主張をおもしろく読めるようにしている。	疑問形にすることで、課題を明確にし、筆者の主張を読者が読みやすいようにしている。	小学校	筆者の調査をアピールしながら、順を追って事実を示し、筆者の主張をはっきりとさせている。	モアイを擬人化することで、モアイが今も生きていて、現代の私たちに訴えている様子を暗に示すことで、筆者の主張を切実なものに思わせる。	中学校
本論の展開	題名											
ストーリー仕立ての文学的な手法を用いて、筆者の主張をおもしろく読めるようにしている。	疑問形にすることで、課題を明確にし、筆者の主張を読者が読みやすいようにしている。	小学校										
筆者の調査をアピールしながら、順を追って事実を示し、筆者の主張をはっきりとさせている。	モアイを擬人化することで、モアイが今も生きていて、現代の私たちに訴えている様子を暗に示すことで、筆者の主張を切実なものに思わせる。	中学校										
<p>5. 振り返り</p> <p>○友だちの考えを聞いてみて、自分の意見がどうなったのか、その変化したことを振り返りとして書く。</p> <p>6. 次時の予告</p> <p>T 次の時間は、「どちらの文章が魅力的か。」について自分の意見をしっかりとまとめてもらいます。</p>												
<p>・ノートに書く。</p>												

本時の学習で言葉による見方・考え方を働かせている姿とは

生徒は前時までに、単元を通して追究してきた問い(どちらの文章が魅力的か)の答えとその根拠を自分なりに見付けているが、その根拠が答えを支えるうえで適切な根拠かどうかということや、答えに説得力があるかどうかということについては、検討できていない。

そこで、本時では他者との対話を通して、自分の答えと根拠の確かさについて考えたり、新たに気付いたことやグループで検証されたことを自分の考えに付け加えたりしていき、それぞれの文章の特徴をより深く考えていく。

板書計画

<p>振り返り</p> <p>グループ学習 手順</p> <p>① 順番を決めて、一人ひとり発表する。</p> <p>② 聞く人はメモを取りながら聞く。</p> <p>③ 話す人は「丸わかりシート」を中央に置いて説明する。</p>	<p>まとめ</p> <p>(生徒の意見をまとめる)</p>	<p>筆者の主張(小学校)</p> <p>筆者の主張(中学校)</p>	<p>めあて</p> <p>友だちとの交流を通して、それぞれの筆者の工夫を捉え直し、自分の考えを吟味しよう。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------------------------------------

神無月四日
モアイは語るー地球の未来
イースター島にはなぜ森林がないのか